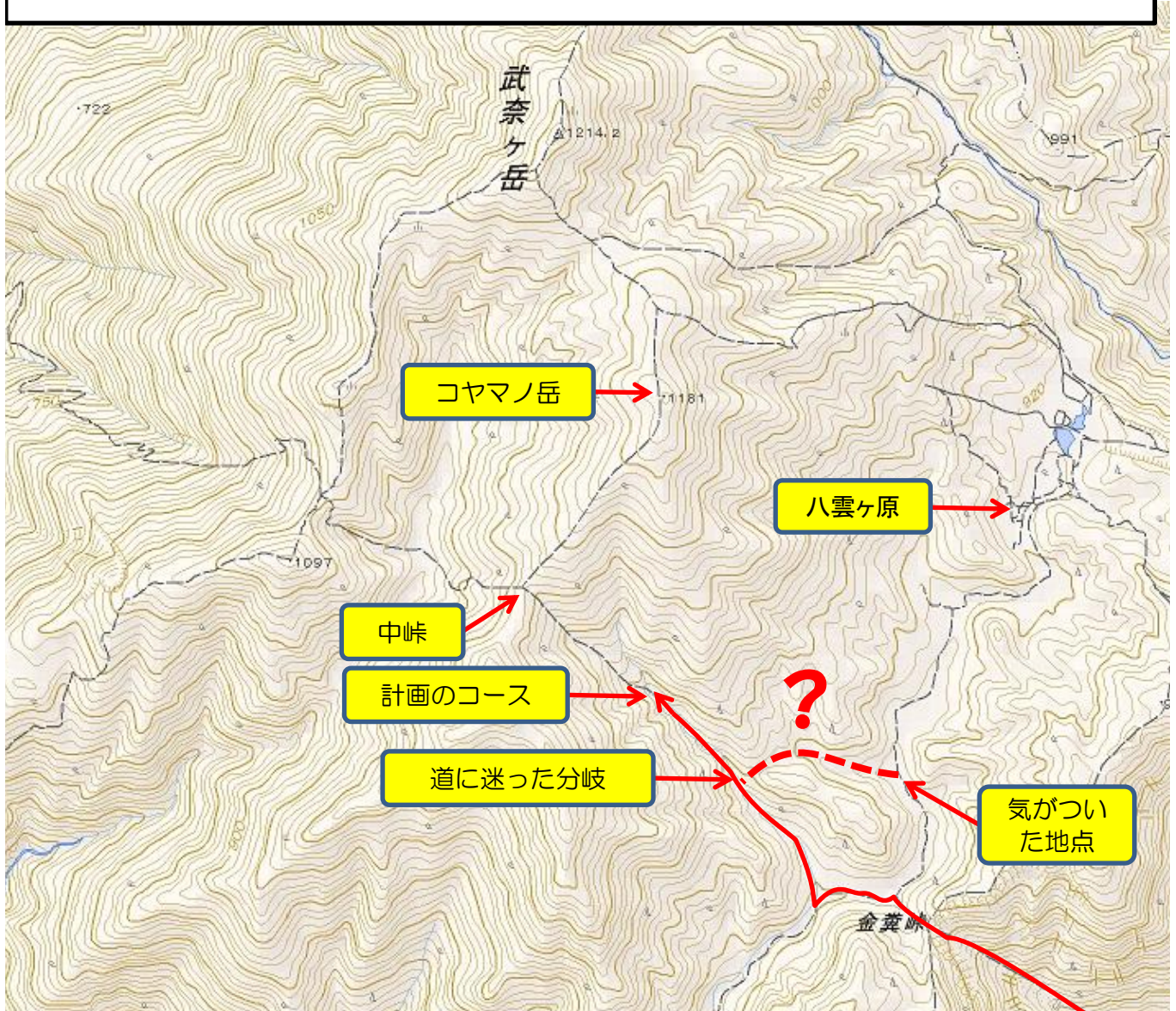


## 武奈ヶ岳道迷い(2012年9月)

コヤマノ岳経由の最短コースで武奈ヶ岳を目指す。地図に乗っていないルートが現われたが、赤テープを頼りに進む。尾根登りのはずが、下りになり、沢が出てきてやっと気づいた。



### 解説

イン谷から入って最短ルートで武奈ヶ岳頂上を目指す計画。しかし、金萁峠から沢沿いに降りて、中峠までの沢で道迷い。「なんかおかしいな...」と思いながらも赤テープを頼りに進むと、八雲ヶ原へのルートに出てしまった。原因は、「地図を見ずに赤テープだけで進んだこと」「地図(山と高原地図)にないルートがあったこと」と反省。

「地図を確認していれば(尾根沿いに登っていくことを確認していれば)すぐに気が付いたはず」と後悔されている。

道は真っ直ぐであるが、赤テープにつられて違う沢を登ってしまう。すぐに下りになるも気づかない。方向も全く違うが、気づかない。これが道迷いである。実は、方向が違うことは、頭の中に山行予定の地図(概念図)が入っていないと中々気づかないものである。事前の地図読み。現地の地図読み。どちらも大切である。